

★中年ちゃんばらん

7月7日(火) 18時半
神戸国際会
議場メインホール
一般2800円
学生2200円

応援歌——。一市民の立場
から現代を垣間みる「田辺
節」を、大阪の新劇「関西
」

映画

4月中旬より朝日会館にてロードシ
ネマチーンシーン
大人1200円(当日150
0円) 学生1000円(大人・高生1
200円) 中学生1200円



「中年の人たちのために」

昭和五十二年二月より十二
二月まで日経新聞に連載さ
れ好評を得た小説の舞台化
あるサラリーマン夫婦を
主人公とし、子供達との日
常戦争を中心に現代社会に
おける人間たちの悲喜交々
を軽妙の笑いと涙で描くホ
ームコメディーである。
不器用にも楽しく生きよ
うとする中年男女に捧げる

芸術座による、生春の大
阪弁芝居でお届けする。
田辺聖子原作、新星英子
脚色、道井直次演出。



音楽

★春のコンサート

北浦洋子・庄岡隆正・淡木節子

3日(金) 19時 神戸文化ホール

★朝比奈千足・サロンコンサート

11日(土) 18時 神戸ポートピア

ホタル 8500円

★吉岡美恵子フルートリサイタル

10日(土) 18時半 神戸文化ホール

★吉幾三リサイタル

23日(木) 18時半 神戸文化ホール

★ブルーノ・レオナルド・ゲルバ
ピアノリサイタル

10日(金) 19時 アルカイックホ
タル S5000円 A4000円

円 B3000円

★小林明子リサイタル

28日(火) 18時半 神戸文化ホール

文化大ホール 3500円

★長田悠希コンサート

14日(土) 14時半 神戸文化ホール

ルシガル 2000円

★芦屋アーティスト
「二部作のふしきな旅」



演劇

★真松・浜田バレエ公演

「眠れる森の美女」

3日(金) 18時 神戸文化ホール

ル A4000円 B3000円

★ケイコ・フジイダンスカンパニー
コンサート

20日(月) 18時半 ルナホール

4000円

★吉幾三リサイタル

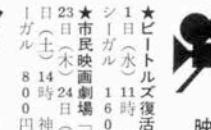
10日(土) 18時半 神戸文化ホール

4000円

★浪曲名人会

30日(木) 13時 国際会館

0円



映画

★ピートルズ復活祭

1日(水) 11時 神戸文化ホール

シガル 1600円

★市民朝独演会

30日(木) 13時 国際会館

30円

★松竹新喜劇

2日(木) 14時半 ピッコロシア

タ 大人2600円 子供200円

クリスマス

2日(木) 17時半 アルカ

イックホール 500円

★県民ギャラリー

伊丹美術協会展

芦屋市書道協会員展

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

4/3/4/8

これは一九八六年カンヌ映画祭でグランプリを取った。デ・ニーロとジェレミー・アイアンズの主演。デ・ニーロは「タクシー・ドライバー」「レイジング・ブル」その他で御存知。いっぽうジェレミーは「ニジンスキー」と「フランス軍中尉の女」に出でてはいるが馴染みはうかうか。私はこのひとのニューヨークでの舞台「リアル・シングル」を現場で見て、いい舞台俳優だとその夜あらためて感心した。

「ミッショーン」とはヤソ教の映画。映画は一七五〇年

ここに十字架が落ちてゆく。人がいわえつけられている。「ミッショーン」はこの言うならばこのひとみごくの洗礼のショットからスタートする。

さてここに奴隸商人ロドリゴ（デ・ニーロ）が妻と自分の弟が関係したことを知り怒りのあまり弟を殺す。かくてざんげとしょくざい求めガブリエル神父のあとを追い南米奥地のイグアスの川上の大自然児ともいえるグアラニ一族の集団村へ。

映画は二時間六分のカラー。イギリス映画はそもそもが記録映画タッチで有名となつた国である。「アラン」「描かれた人生（レンブラント）」「エレファント・ボイ」すべてこれらのイギリス映画は記録映画タッチで輝いた。リアリズム映画とはひとかわ違う。まさに実写スタイルなのだ。「ミッショーン」がそれを思わせる。図書館の古い歴史書物のカラー図をひらいているうちにそれが映画となつて迫つてくる感じだ。

さて「ミッショーン」とは宗教伝道の集団。話は古く五四〇年にイグナチオが創始した異教世界の布教活動なのだ。ガブリエルとロドリゴこのふたりの神父の苦闘。

この二人の男同志の愛。宗教のきびしさ。ついにこのふたり士民の生き神となり立派な教会を建てる（ここは映画はタイムをはぶいてすとばしていた。それで土民たちが力あわせて大きな教会を築いてゆくところはすべてなし。だからここをそれを省略してディフォルメされた教会を意識せぬところはすこしおかしく思える人もあらう）。

さてこの地をスペインとポルトガルが奪い合つての戦にかく「ミッショーン」は男ふたりの地味な映画。惚れたはれたは映画初めの五分くらい。あとは水と山と男だけの映画。ひとくちに申せばジェレミー・アイアンズ扮するガブリエル神父が南米奥地にジュリアン神父に代つて宣教に。ジュリアンは土民に捕えられ十字の柱にしばられ大瀑布イグアスから流されてしまう。

映画の始まりはゴーゴーとどろくイグアスの壯觀。ごろの大時代劇。かかる映画を作るイギリスに感心もする。もちろん日本も名僧の伝記を映画化はしているがとにかく「ミッショーン」は男ふたりの地味な映画。惚れたはれたは映画初めの五分くらい。あとは水と山と男だけの映画。ひとくちに申せばジェレミー・アイアンズ扮するガブリエル神父が南米奥地にジュリアン神父に代つて宣教に。ジュリアンは土民に捕えられ十字の柱にしばられ大瀑布イグアスから流されてしまう。

映画の始まりはゴーゴーとどろくイグアスの壯觀。

ブロデューサーのパットナムは「炎のランナー」「キリング・フィールド」。ちかの製作現場のブロデューサーのフェルナンド・ギアは「赤いテント」のブロデューサー。「赤いテント」は南極探検でアムンゼンを見捨てて帰つてしまつたノヴィル將軍の悲劇。



監督が「キリング・フィールド」のローランド・ジョフ。そしてこの映画のオリジナル脚本がロバート・ボルト。このボルトは劇作家としてまさに第一級。彼の劇を映画化したのが「わが命つくるとも」。ヘンリー八世の私生活をいさめたばかりに死刑にされた学者の悲劇。なおこのボルトは「アラビアのロレンス」「ドクトル・ジバコ」の映画脚色にも当っている。そして……キヤメラが「キリング・フィールド」のクリス・メンジエス。

イグアナの滝に落ちてゆく神父



ロドリゴ神父（ロバート・デ・ニーロ）



いうか、あ、み屋さんの二階に日曜ごとに二人の西洋人の尼さんがオルガンをひいてイエス物語を私たちに聞かせたものだ。たたみ敷きの日本間十畳。私は毎週行つた。理由はかえりに紙がくろに入れたビスケットを尼さんがくれるからだ。やがて私も中学生となつた。兵庫のその旧制三中に英会話の先生が西洋婦人。ジス・イズ・ア・ブックとかいろいろと教えられ、『もっと大きな声で』という日本語がこの西洋人の先生うまく言えぬ。そこで

音楽がエンニオ・モリコーネ。

まづこれだけ揃うとグラン・プリはどう考へても当ぜんであろう。ところで映画というものはイエズスの古き宗教伝道を今に私たちの目前に知らせてくれる。思えば私の子供のころヤソ教というその信者のことを大正初め（一九一〇年すき）までは、『あいつヤソやでエ』などとかげぐちきいたものだ。私のそのころ大正五年（一九一六）ごろ兵庫の西柳原そのエベッさんちかくに野間と

“大きな声で”が、いつのまにか“オーキヤラコオ”と言う耳にこの西洋人が聞く日本語の発声をそのままいつも言うようになつた。この先生の時間は黒板のまえで“ハイ、オーキヤラコー”。そして私たち中学一年生もそこで声張りあげて“ジス・イズ・ア・ブン”。思えば大正の初めこのように西洋婦人が英語を教えるはるばる日本にやつて来たのだなあ。「ミッショソ」はそのような西洋人の思い出さえもよみがえらせた。



★ユーディ・メニューイン
田崎真珠を表敬訪問
世纪の大天才ヴァイオ
リニストとして名の高い、ユーディ・メニュー
イン氏が田崎ホールでの
演奏会の前日、3月13日
にダイアナ夫人を伴って
田崎真珠本社を表敬訪問
した。

昨年70歳を迎える、世界
各地で記念コンサートを開
き、日本にも田崎真珠
の招きで来日。旺盛な演
奏活動をこなしているメ
ニュイン氏は愛妻家と
して有名で真珠加工室
を見学中、常に夫人の足
を使いつらうなど思いやり深
さが感じられるダイアナ夫人
たびたび。ダイアナ夫人
は、真珠の輝きに目を細
めてご満悦の笑顔。見学
後、お茶席に入り、日本
の美を堪能された様子だ
った。



●感性のあるヘヤースタイルを
西野順子 <あきら美容室>

美容師になって約10年。「ヘヤースタ
イルを決めるのは顔だけでなく、その人
のセンスや環境などのライフスタイルに
いかにあわすかが大切ですから。」と海
外へも積極的に出かけ、日本にない優れ
た感性を肌で感じとて来るという西野
さん。女性も自分の生き甲斐を持つべき
だと意欲的だが、良き協力者のご主人と
8カ月の女の子がいる家庭も大切とのこ
と。

MAESTRO

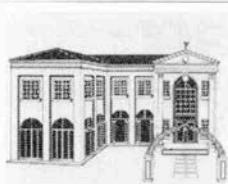
TOPICS

●ファッションコンペーンバークが協賛
している神戸ベストドレッサー
「ズ大賞マリン」の第1次予

選の応募締切が目前。昭和62
年4月5日必着となっています。

のウエザーリポートで、決勝
戦参加のギャラリー（観客）
の中から最もベストドレッサー
賞が選ばれます。

●ローズあきらより
カット・プロウを
三宮本通りにある美容室、ロ
ーズあきらより、カット・プロ
ウを2名様にプレゼント。春の
風を受けへーもしなやかにス
タイリングしてみませんか。ロ
ーズあきらなら、あなたの個性
に合わせ、定評あるカット技術
できめ細やかな仕上りです。



●神戸風月堂より
「クッキーの館」の試食券を
3月21日、元町の風月堂西隣
にオープンした「クッキーの
館」レスボワールから試食券を
10名様ペアでプレゼントしま
す。できたてのクッキー、アイ
スクリーム、コーヒーをセット
で召しあがってみてはいかが。
まろやかな風味をお楽しみくだ
さい。

PRESENT CORNER

●応募方法 ●葉書に住所、氏名、電話番号、希
望する商品名を明記の上、神戸市中央区東町
111-1 大神ビル9F 「月刊神戸」子
店へプレゼント係までご応募下さい。4月20
日消印まで有効です。当選者は神戸「子」か
ら当選葉書を発送、葉書を持ってお店まで、
プレゼントを受け取りに出かけ下さい。

0 7
7 8
8 9
9 10
10 11
11 12
12 13
13 14
14 15
15 16
16 17
17 18
18 19
19 20
20 21
21 22
22 23
23 24
24 25
25 26
26 27
27 28
28 29
29 30
30 31
31 32
32 33
33 34
34 35
35 36
36 37
37 38
38 39
39 40
40 41
41 42
42 43
43 44
44 45
45 46
46 47
47 48
48 49
49 50
50 51
51 52
52 53
53 54
54 55
55 56
56 57
57 58
58 59
59 60
60 61
61 62
62 63
63 64
64 65
65 66
66 67
67 68
68 69
69 70
70 71
71 72
72 73
73 74
74 75
75 76
76 77
77 78
78 79
79 80
80 81
81 82
82 83
83 84
84 85
85 86
86 87
87 88
88 89
89 90
90 91
91 92
92 93
93 94
94 95
95 96
96 97
97 98
98 99
99 100
100 101
101 102
102 103
103 104
104 105
105 106
106 107
107 108
108 109
109 110
110 111
111 112
112 113
113 114
114 115
115 116
116 117
117 118
118 119
119 120
120 121
121 122
122 123
123 124
124 125
125 126
126 127
127 128
128 129
129 130
130 131
131 132
132 133
133 134
134 135
135 136
136 137
137 138
138 139
139 140
140 141
141 142
142 143
143 144
144 145
145 146
146 147
147 148
148 149
149 150
150 151
151 152
152 153
153 154
154 155
155 156
156 157
157 158
158 159
159 160
160 161
161 162
162 163
163 164
164 165
165 166
166 167
167 168
168 169
169 170
170 171
171 172
172 173
173 174
174 175
175 176
176 177
177 178
178 179
179 180
180 181
181 182
182 183
183 184
184 185
185 186
186 187
187 188
188 189
189 190
190 191
191 192
192 193
193 194
194 195
195 196
196 197
197 198
198 199
199 200
200 201
201 202
202 203
203 204
204 205
205 206
206 207
207 208
208 209
209 210
210 211
211 212
212 213
213 214
214 215
215 216
216 217
217 218
218 219
219 220
220 221
221 222
222 223
223 224
224 225
225 226
226 227
227 228
228 229
229 230
230 231
231 232
232 233
233 234
234 235
235 236
236 237
237 238
238 239
239 240
240 241
241 242
242 243
243 244
244 245
245 246
246 247
247 248
248 249
249 250
250 251
251 252
252 253
253 254
254 255
255 256
256 257
257 258
258 259
259 260
260 261
261 262
262 263
263 264
264 265
265 266
266 267
267 268
268 269
269 270
270 271
271 272
272 273
273 274
274 275
275 276
276 277
277 278
278 279
279 280
280 281
281 282
282 283
283 284
284 285
285 286
286 287
287 288
288 289
289 290
290 291
291 292
292 293
293 294
294 295
295 296
296 297
297 298
298 299
299 300
300 301
301 302
302 303
303 304
304 305
305 306
306 307
307 308
308 309
309 310
310 311
311 312
312 313
313 314
314 315
315 316
316 317
317 318
318 319
319 320
320 321
321 322
322 323
323 324
324 325
325 326
326 327
327 328
328 329
329 330
330 331
331 332
332 333
333 334
334 335
335 336
336 337
337 338
338 339
339 340
340 341
341 342
342 343
343 344
344 345
345 346
346 347
347 348
348 349
349 350
350 351
351 352
352 353
353 354
354 355
355 356
356 357
357 358
358 359
359 360
360 361
361 362
362 363
363 364
364 365
365 366
366 367
367 368
368 369
369 370
370 371
371 372
372 373
373 374
374 375
375 376
376 377
377 378
378 379
379 380
380 381
381 382
382 383
383 384
384 385
385 386
386 387
387 388
388 389
389 390
390 391
391 392
392 393
393 394
394 395
395 396
396 397
397 398
398 399
399 400
400 401
401 402
402 403
403 404
404 405
405 406
406 407
407 408
408 409
409 410
410 411
411 412
412 413
413 414
414 415
415 416
416 417
417 418
418 419
419 420
420 421
421 422
422 423
423 424
424 425
425 426
426 427
427 428
428 429
429 430
430 431
431 432
432 433
433 434
434 435
435 436
436 437
437 438
438 439
439 440
440 441
441 442
442 443
443 444
444 445
445 446
446 447
447 448
448 449
449 450
450 451
451 452
452 453
453 454
454 455
455 456
456 457
457 458
458 459
459 460
460 461
461 462
462 463
463 464
464 465
465 466
466 467
467 468
468 469
469 470
470 471
471 472
472 473
473 474
474 475
475 476
476 477
477 478
478 479
479 480
480 481
481 482
482 483
483 484
484 485
485 486
486 487
487 488
488 489
489 490
490 491
491 492
492 493
493 494
494 495
495 496
496 497
497 498
498 499
499 500
500 501
501 502
502 503
503 504
504 505
505 506
506 507
507 508
508 509
509 510
510 511
511 512
512 513
513 514
514 515
515 516
516 517
517 518
518 519
519 520
520 521
521 522
522 523
523 524
524 525
525 526
526 527
527 528
528 529
529 530
530 531
531 532
532 533
533 534
534 535
535 536
536 537
537 538
538 539
539 540
540 541
541 542
542 543
543 544
544 545
545 546
546 547
547 548
548 549
549 550
550 551
551 552
552 553
553 554
554 555
555 556
556 557
557 558
558 559
559 560
560 561
561 562
562 563
563 564
564 565
565 566
566 567
567 568
568 569
569 570
570 571
571 572
572 573
573 574
574 575
575 576
576 577
577 578
578 579
579 580
580 581
581 582
582 583
583 584
584 585
585 586
586 587
587 588
588 589
589 590
590 591
591 592
592 593
593 594
594 595
595 596
596 597
597 598
598 599
599 600
600 601
601 602
602 603
603 604
604 605
605 606
606 607
607 608
608 609
609 610
610 611
611 612
612 613
613 614
614 615
615 616
616 617
617 618
618 619
619 620
620 621
621 622
622 623
623 624
624 625
625 626
626 627
627 628
628 629
629 630
630 631
631 632
632 633
633 634
634 635
635 636
636 637
637 638
638 639
639 640
640 641
641 642
642 643
643 644
644 645
645 646
646 647
647 648
648 649
649 650
650 651
651 652
652 653
653 654
654 655
655 656
656 657
657 658
658 659
659 660
660 661
661 662
662 663
663 664
664 665
665 666
666 667
667 668
668 669
669 670
670 671
671 672
672 673
673 674
674 675
675 676
676 677
677 678
678 679
679 680
680 681
681 682
682 683
683 684
684 685
685 686
686 687
687 688
688 689
689 690
690 691
691 692
692 693
693 694
694 695
695 696
696 697
697 698
698 699
699 700
700 701
701 702
702 703
703 704
704 705
705 706
706 707
707 708
708 709
709 710
710 711
711 712
712 713
713 714
714 715
715 716
716 717
717 718
718 719
719 720
720 721
721 722
722 723
723 724
724 725
725 726
726 727
727 728
728 729
729 730
730 731
731 732
732 733
733 734
734 735
735 736
736 737
737 738
738 739
739 740
740 741
741 742
742 743
743 744
744 745
745 746
746 747
747 748
748 749
749 750
750 751
751 752
752 753
753 754
754 755
755 756
756 757
757 758
758 759
759 760
760 761
761 762
762 763
763 764
764 765
765 766
766 767
767 768
768 769
769 770
770 771
771 772
772 773
773 774
774 775
775 776
776 777
777 778
778 779
779 780
780 781
781 782
782 783
783 784
784 785
785 786
786 787
787 788
788 789
789 790
790 791
791 792
792 793
793 794
794 795
795 796
796 797
797 798
798 799
799 800
800 801
801 802
802 803
803 804
804 805
805 806
806 807
807 808
808 809
809 810
810 811
811 812
812 813
813 814
814 815
815 816
816 817
817 818
818 819
819 820
820 821
821 822
822 823
823 824
824 825
825 826
826 827
827 828
828 829
829 830
830 831
831 832
832 833
833 834
834 835
835 836
836 837
837 838
838 839
839 840
840 841
841 842
842 843
843 844
844 845
845 846
846 847
847 848
848 849
849 850
850 851
851 852
852 853
853 854
854 855
855 856
856 857
857 858
858 859
859 860
860 861
861 862
862 863
863 864
864 865
865 866
866 867
867 868
868 869
869 870
870 871
871 872
872 873
873 874
874 875
875 876
876 877
877 878
878 879
879 880
880 881
881 882
882 883
883 884
884 885
885 886
886 887
887 888
888 889
889 890
890 891
891 892
892 893
893 894
894 895
895 896
896 897
897 898
898 899
899 900
900 901
901 902
902 903
903 904
904 905
905 906
906 907
907 908
908 909
909 910
910 911
911 912
912 913
913 914
914 915
915 916
916 917
917 918
918 919
919 920
920 921
921 922
922 923
923 924
924 925
925 926
926 927
927 928
928 929
929 930
930 931
931 932
932 933
933 934
934 935
935 936
936 937
937 938
938 939
939 940
940 941
941 942
942 943
943 944
944 945
945 946
946 947
947 948
948 949
949 950
950 951
951 952
952 953
953 954
954 955
955 956
956 957
957 958
958 959
959 960
960 961
961 962
962 963
963 964
964 965
965 966
966 967
967 968
968 969
969 970
970 971
971 972
972 973
973 974
974 975
975 976
976 977
977 978
978 979
979 980
980 981
981 982
982 983
983 984
984 985
985 986
986 987
987 988
988 989
989 990
990 991
991 992
992 993
993 994
994 995
995 996
996 997
997 998
998 999
999 1000

★神戸の集いから

★『食』を通して

人とのふれ合い大切に

素朴なおかげ作りを続け

る中川二葉の会が「第7回

おかげ大集合ふれ合いの集

い」を、2月20日(金)神戸

経理専門学校で開いた。

「お母さんは、家族をもつ

と愛して、心のこもったお

かずを作つて下さい。」と

主宰の中川みよ子さん。ゲ

ストには伝承料理研究家の

奥村恵生さんを始め、大阪

新聞社松尾常登、灘神戸生

協碑井美智子、あまから手

帖勢井由美さんらを迎え、

総勢250人もの参加者に、用



中川先生(右端)と教室の皆さん



正しく、楽しく、カンパイ!

意された100種類余の料理
も、あつという間になくな

る大盛況ぶりだった。

★『酒の道』を求めて

2月21日(土)午後5時か

ら、三宮東急インで『酒を

らの会議だった。

★ソウルと兵庫県が姉妹に

日韓親善の集いが、2月

18日の夜、生田神社会館で

開かれ、約20名がなごやか

に新春の顔を合せた。

今年は、兵庫県民団側か

ら親善に尽力のあつた十人

に功労賞が出された。中

井一夫、上田将雄、小池義

人、望月美佐、中西勝、佐

藤廉、内海都一、高田敬、

山下裕之、宮永孝さんらが、

を迎える韓国へ、3月初旬、

日韓親善の使節団がおもむ

き「ソウルと兵庫県の姉妹

縁組」が決った。

ソウルの韓日親善協会か

ら知事と市長と中井一夫さ

士井元知事・チョゴリ姿の望月さん



坂井元知事・チョゴリ姿の望月さん

んに感謝状が送られ、また

功労賞が小池義人、望月美

佐、佐藤廉、中西勝、宮永

考さんに送られ、日韓親善

は一段と深まった。

★延若丈と共に



宮崎会長と延若丈と共に

上方歌舞伎を愛する人々
の、實川延若丈を囲む「神
戸井筒会」(宮崎辰雄会長)
が、第16回目の総会を、生
田神社会館で開催し、約150
名のファンが集つた。
宮崎会長、森実勉さんら
のあいさつの後、今年は、
長唄「外記猿」を延若丈が
藤間宗家の振付けで、洒脱
さと品のよさを譲よせた
素踊りを披露。
土井芳子さんの音頭で、
乾杯。会場に延若丈を迎
え、神戸室内合奏団のヴァ
イオリニスト○○○○○さん
の演奏も。豊かな雰囲気が
漂よう。

ひとつ・いん



★素敵な夜を演出します

北野坂のふもとに新しく

誕生したチャールストンク

ラブは、お洒落なムードディ

スト・スペースだ。g壳の

ウイスキーは、例えばホワ

イトホースなら1ショット

30gで300円。カクテルも種

類が豊富で約100種。その

上、料理が美味しいのだから

ら申し分ない。フランス料理

16年のキャリアを持つシ

エフが、本格的な料理を供

してくれる。フロアではラ

イブ演奏に合せてダンスも

め楽しめる。



お洒落空間へどうぞ



3階では懷石料理を



キューパン手にハスラー気分

M 2F 露天 3:30PM ~ 9:30PM / 平日 6PM
休 3:30AM ~ 10:00AM / 年中無

月 14日 鮭川筋にオープン。
昼間は喫茶店(コーヒー)

ト 250円、夜はバー(1ショット

500円より)

として、ビリヤードなしでも十分満足。
ギリシャ人のコックさんが
作る料理もバラエティ豊か
で味も本格的。

スタッフは若くて気さくな
人ばかりで、気取らず楽

い。開氣のあるインテリアもい
い。

■中央区中山手通1-4 Uライン

三宮ビル / 異人坂花苑 露天 3:30PM ~ 7:00PM

0063

★もう、気分はハスラー
グラス片手にビリヤード

そんな小粋な店が、2

ド、月14日鮭川筋にオープン。

昼間は喫茶店(コーヒー)

ト 250円、夜はバー(1ショット

500円より)

として、ビリヤードなしでも十分満足。

ギリシャ人のコックさんが

作る料理もバラエティ豊か

で味も本格的。

スタッフは若くて気さくな
人ばかりで、気取らず楽

い。開氣のあるインテリアもい
い。

神戸うまいもん とドリンクキング

■中央区北野町4丁目8-3
露天 078-221-0168
平日 11AM ~ 3PM・5:10PM
M / 土・日は 3:15PM (ティ
タイム) あり 月曜定休

北野食堂 ブラッスリー

正浪漫漂う北野食堂だ。

季節感を盛り込んだ和食

をメインに、究極の洋食

メニューやおふくろの味

が楽しめる。厨房を守る

のが女性コックというの

も珍しい。盛りつけ等に

女性らしさが伺え、四季

に応じたメニューでもて

なしてくれる。「お客様

との心の触れ合いを大切

にして行きたい。」と、

店長の西本さん。

■昼 館 (ひる) 10:00PM、
夜 (ひる) 8:00PM、カ

ツレットライス900円、ビフ

テックライス900円、ステー

キランチ2500円など

オーブン。1階から4階まで趣向を凝らしたフロア一

ジエラートのネーベラル

ー。2階は星はジエラ

トカフェ、夜はドリンクス

ボット。3階では本格懷石

料理がお手頃価格で、また

4階では肴と一品料理の

他、寿司もある。言つてみ

れば、味の博覧会。1・

2階はミラノ感覚、3・4

階はモダンな中に和食の雰

囲気のあるインテリアもい

い。

■ハンバーグ1500円、オーブン

グランピース1900円、コースワン

理3500円、北野坂FBIビル

■ハンバーグ1500円、オーブン

グランピース1900円、コースワン

理3500円、北野坂FBIビル

■ブルバーバー(ファーストエディ

イ男500円女500円夜6PM~5A

中央区下山手通4

392-17033

せるベーコンを作ったのが
きつかけでソーセージ、ハ
ムを作り、それが、やがて
代官山にへく

芦屋へクセンハウス **0797-38
2502**

★OK!俺が尼崎のロックシンガーだ



コン娘がいらっしゃる
やいわせ代官山にへく

に、たが、ウスと
になつ

がーが登場。KAZUKI
こと岡村博行く。昭和41

年尼崎生まれ。ドラマの大

道具やエキストラ、スカウ

トマン、俳優などを経てこ

の世界へ。明るい性格で、
外見と違ひなかなかの三枚

目。

トマン、俳優などを経てこ
の世界へ。明るい性格で、
外見と違ひなかなかの三枚

目。

トマン、俳優などを経てこ
の世界へ。明るい性格で、
外見と違ひなかなかの三枚

目。

トマン、俳優などを経てこ
の世界へ。明るい性格で、
外見と違ひなかなかの三枚

目。

トマン、俳優などを経てこ
の世界へ。明るい性格で、
外見と違ひなかなかの三枚

目。

トマン、俳優などを経てこ
の世界へ。明るい性格で、
外見と違ひなかなかの三枚

目。

トマン、俳優などを経てこ
の世界へ。明るい性格で、
外見と違ひなかなかの三枚

目。

トマン、俳優などを経てこ
の世界へ。明るい性格で、
外見と違ひなかなかの三枚

目。

トマン、俳優などを経てこ
の世界へ。明るい性格で、
外見と違ひなかなかの三枚

目。

落である。

吉川晃司ばりの大型シン

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

38

伝統に新しさ セレモニーを 加味した

セレモニーを

高橋 孟

羽多 暁世

大谷 大谷

(漫画家)
(彫刻家)



左より大谷社長/たかはしもうさん/羽多悦子さん(元町風月堂にて)

大谷 高橋孟先生も、先日お母さまが亡くなられましたね。高橋故郷が徳島でしたね。弟と一緒に母親は暮していたのですが八十八才で亡くなりました。

いやー一番困ったのはお葬式

に飾る顔写真。何と結婚記念の集合写真の中から選んだ(笑)あわてふためくと、どこにあるかわからんのですね。だから元気な間にぼくは、かっこいい写真を撮して決めとかないかんと思いましたよ。

大谷 羽多先生も、お母さまが?

羽多 ええ。私はいろいろ続きましたね。父が病気で寝込んでいた

のが亡くなつて、姉が交通事故に

あい、母も看病から疲労で亡くなつて、まだ親戚にもいろいろあつて、大変でした。

その上、二紀会の鴨居玲先生や西村功先生のお母さまなど続きましたから、何かお葬式のべテラン

になつて(笑)どういう手順でやるのやとよく呼び出されました。

だから手順や準備のことがまとめて判るような冊子があるといいで

すね。

大谷ええ、私共では、各宗派、

神道、キリスト教それぞれありますので、冊子にまとめてあるので

ぜひご利用下さい。

羽多 私の故郷は摂津の国(北の

方)で丹波に近い農家なので、お葬式も昔からの伝統的な、のぼりを

持つて歩くような土葬なんです。

お友達が神戸から来て下さった

りしますので、前半は伝統的に、後半は靈柩車を呼んで火葬という

両方のセレモニーで行いました。

大谷 そうですね。地域地域によつて随分違いますからね。

羽多 でもお通夜やお葬式を通して、お寺の住職からいろいろ、初

七日や、十日、四十九日、百日など仏様のとむらい方やいわれを教

えていたいたことがとてもよかったです。

高橋 そうそう、テレビでも丹波哲郎さんの『死後の世界』とか、細木数子さんの『先祖を祀れ』とかいわれるのを見ますが、若い人に沢山見てほしいですね。人間にとつて『死』を考えるのは、生きている証やからね。

大谷 今日も86才、41才、36才の方々の御葬式でして、順序通りにはいかないのが現代ですね。

高橋 そう、今年は世界の宗教会議が日本で開かれる。『平和』を考へて行くことは『生きる』時間がいかに大切かということですよ。

★徳真会へのご入会は、[☎078-5050-688](#)
へ★当会員は葬儀基本料金の1割引他特典
が色々あります。

金葬連認定
葬祭専門士資格取得者
株式会社
大谷徳風社

大谷徳風社
大谷晃世

全国葬祭事業協同組合
神戸葬祭事業協同組合理事
本社/神戸市長田区松野通1-11-12
☎078-621-0089
078-592-15485

神戸・発見

PARTへ5へ

思いつきり ハビネス

森下 悅伸
（ラジオ関西報道制作部）

カメラ／松原卓也



★ボクのONCE UPON A TIME
IN アメリカ

真新らしい制服に身を包んだ中学生を見ると、甘酸っぱい青春時代を思い出す。肩口を吹き抜けでゆく埃っぽい風、木々の青っぽいにおいと透明感のない青空、それらが入り交ったエロティックな春のたたずまいの中で、ボクの古ぼけた黄色い青春は、もう一度、鮮やかに色を放つ。一流中学に入れなかつた落ちこぼれを集めた学校に入学したのは1961年の4月だつた。ラジオから流れてくる／ウォーク・ドント・ラン／を聞きながら、ボクは受験勉強に費やした2年間を振り返り、ぼんやりとした挫折感を味わつていた。しかし、小さな島国の、小さな少年の、そんな、ちっぽけな挫折感など、どこかに置き忘れたかのように、時代は大きく動いていた。

ボクは、この年、南ベトナムに對し4,000人の特殊部隊派遣を決定、ベトナム戦争突入へのきつかけを作つた。自由圈の旗手、正義の国、強く醜いアメリカが動き出した。しかし一方、強く醜いアメリカとは反対に、明るく、豊かなアメリカに魅せられた、ボクの様な少年もいた。この年アメリカではプレスリーの／G・I・ブルース／が上映され、親たちのヒステリックな非難とはうらはらに、10代の女の子達はそのセクシーさに次々とノック・アウトされていった。デルシャノンの唄う／悲しき街角／は4週連続全米ヒット・チャート1位にランクされ、ボヴ・ディランがカーネギーホールで53人の観客を前にコンサートを開いた。ブライアン・ハイランド／ジョニー・ティロットソン／みんな素敵だった。青いサンダー・バー

ド。チョコレートがいっぱいのつかつたアイスク
リーム。白い大きな冷蔵庫。レコードがすり切れ
たジューク・ボックス。タイアを焦がして走り去
るホット・ロッド。鼻のあたまがツンと上を向い
たポニー・テイルの女の子。光の海に浮かぶ夜の
アミューズメント・パーク。2人で乗るメリーゴ
ーランド。そしてコニー・フランシスの／ボーイ・
ハント／は甘く切なく、ボクの心をくすぐつた。
アメリカの優しく素敵な香りは、遙か大西洋
を越え、アジアの片隅の、ちっぽけな島国に住む
少年達にも届き始めていた。



PM 6° 52' ポートアイランド



PM
6° 10'

丸刈のニキビづらと、風呂敷に包んだ教科書、
紺色のジャバラの制服と、駅から学校までの1キ
ロを駆け足で通学するボク達を監視する教師達
の、100メートルごとの叱咤、激励の声の中
で、学園生活が始まった。／団塊の世代／の中の
250人は、それからの6年間、男だけで過ごす
事になる。

季節は春から、むせかえるような夏に変わり秋
がきて、冬になった。友達が出来はじめ、本格的
にボクの学園生活は始まった。

PM 6° 30'



子がホイ・ホイ・ミュージック・スクールで／バケーション／を唄い／スードラ節／はい／それまでよ／と、植木等は無責任路線をひた走つていった。ツイストが流行し、ジェリー・藤尾の／遠くへ行きたい／が旅情を誘つた。団塊の世代は、しだいに意識を持ち始め、社会のあちこちで新らしい波を作り出していた。学生自身が企画、運営したコンサート／ジュニア・ジャンボリー／が東京で開催され、昔ながらの歌謡界にしつかりと、櫻を打ちこんだのも、この年の事だった。

そして、日本のフォーク・ソングが産ぶ声をあげた。ボクは高校に進み、野球部に入部した。

ビーチ・ボーイズが日本にやつて來た。1966年1月、前から5列目のチケットを手に入れたボクは、授業が終るのも、もどかしく、フェスティバル・ホールに駆けつけた。

白いコットン・パンツに、オレンジ色のストライプ・シャツを着た、ブライアン・ウィルソン／マイク・ラヴ／アル・ジャーデン達がまばゆい光の中にいた。

A・K・Gのマイクで、アンプリファイセッドされた／サーフィン・USA／サーファー・ガル／ファン・ファン・ファン／は、目も眩むばかりの音の洪水となつて、ボクの体内を駆けめぐり、やがて頭の中で形を変え、吸い込まれそうな夏の日の入道雲になつた。

そしてその日、ボクはカルフォルニアの紺碧の空を想いながら、何度も何度も／サーファー・ガル／を聴いた。〔C〕

灰色の雲が低くたちこめる寒々しい、イギリスの片田舎、リバプールでデビューした、ビートルズが2枚目のシングル／プリーズ・プリーズ・ミー／をリリースし、全世界の若者達を席巻したのは1963年、ボクが中学3年生になつた時のことだつた。明るい太陽がさんさんと降りそそぐ、南カルフォルニアの片田舎で、デビューした、ビーチ・ボーイズも（同じ年の3月）／サーフィン・USA／を大ヒットさせた。日本では吉永小百合と橋幸夫が唄う／寒い朝／がヒットし、弘田三枝

麻薬と失業と膨大な赤字財政に悩むアメリカ。ベトナム戦争から、いまだに逃れられないアメリカ。

でも、ボクは覚えている。

陽の落ちた、サンタ・モニカの浜辺を。

サンフランシスコの空に昇る坂道を。

灯がともりはじめた、ブロード・ウェイを。

傷ついてしまった、ボクのアメリカ。

もう2度と、昔の様にひかり輝くことは、ないかも知れない。戻れないから、美しいのかもしない。

でも、ボクは知っている。

光がシャワーのように降りそそぐボクだけのアメリカは、バー・ポン・ウィスキーの氷の中で、いつまでも、色あせることなく、キラ・キラと揺れ続けている事を。



P・S

時々、ふと、遊園地に行きたくなる。それも、夏の夕暮、灯がともり始めた頃。空が茜色に変わり、星達が顔を見せ始める頃。遊園地は昼間とは、全く異った表情を見せる。湿った空気は、冷めたい風に追われ、逃げ場を失い、室外器のまわりで、渦をまく。遠くで、恋人達の笑い声が聞こえる。過ぎ去った、思い出が切り取られた写真のよう、はつきりと、蘇える。そんな時、いつも、決つて胸がキンと痛くな／時代／という、あまりにも、無機質な流れの中で、陽炎のように、冴く消えていった。

ポートピア・ランド・イン・アメリカ。

第一回

炎の彩管

矢口 耕一

絵 谷口和市

一

芝の神明町から増上寺境内へ向うゆるい坂道を、西洋人を載せた二人びきの人力車が一台、土の上に轍の跡をつけながら登つていった。後ろから車を押す恰好で、下駄ばきの青年がついてゆく。

明治十七年（一八八四）五月の朝のことである。昨日の雨で道の端に水が走つてゐる。空はよく晴れ、立木の嫩葉が明るかった。

青年は歩きながら、ひと重瞼のきつい眼で辺りを眺めていたが、車夫に声をかけて足をとめた。

その附近は芝山内と呼ばれる所で、雜木林とわずかな畑の間に、藁茅き屋根の家がまばらな姿を見せていた。

「変だな、確かにこの道だと聞いたんだが」

彼は腰の手拭をとつて汗をふいた。紺の單衣物の下に袖長の白襪衣を着こみ、ざんぎり髪に袴という書生姿である。

陽が高くなつて暑さは増したが、樹間を涼しい風が渡つてゐる。透明な嫩葉の影が青年の素足の上でゆれていた。

色の黒い年嵩な方の車夫は棍棒を握り直し、片手で襟にかけた手拭をひつぱると皺の深い顔をぬぐつた。

「ほかに家数が減つちまいましたね。岡倉さん、ひとつあそこいらに立つてゐる内儀さんにも、訊いておくんなさいよ」

青年を眼をやると、なるほどそここの樹の陰や物陰に女や子供がいて、怪訝そうな眼をこちらに向けていた。彼は苦笑し、近くで洗濯物を干している主婦の方へ歩みよつた。

車上の西洋人は碧い眼で周囲の林を見まわしていた。山高帽を冠つた男で、歳の頃三十ばかり、気が強そうに上を向いた鼻、髭を立てた自信ありげな口許。頬骨の高い削いだような容貌は知性を窺わせたが、茶色の睫毛が落着きなく始終またたいていた。

「金蔵さん、少し来過ぎたよ。ずっと手前に荒物屋があるそうだ。その親爺が絵師だというから、間違いないな」

「ようがす。オイ、戻ろう」



車夫は若い相棒に声をかけ、棍棒を握った。青年が車上へ声を高め、英語で説明する。西洋人は驚揚に額き、青年に愛想よく片眼をつむって見せた。

先刻前を通った時には雨戸でも閉っていたものか、新しい豆畑と隣合せにそれらしい店があつた。低い軒を表へ差しかけ、板敷の上に土釜・七輪・簞・茶碗といった品を並べている。軒に吊した五、六足の草鞋の緒に、畑から伸びた豆の蔓がしなやかに絡んでいた。

母家はひつそり障子をとざしている。羽目板には古い扁額が掛けられ、墨の跡が蝸牛庵と読めた。

岡倉はそれを眺め、目顔でここだと連れに知らせる。

西洋人は車を降り帽子を直すと背筋をのばした。

「ご免下され」

青年が障子の前に寄つて声をかける。奥から遠い声が応じ、四十ぐらいの女が手を拭きながら、草履をはいて出てきた。

「いらっしゃい。何を差上げます?」

「いえ、買物ではありません。狩野芳崖先生にお目通りがしたくて伺つた者です」

「あ、そう……はい」

妻女と見えるその女は、西洋人に眼を合わせると冠り物をとり、首をすくめて家中へ駆け込んだ。開いた障子の奥に男の姿が見えた。妻女の囁きに筆をおくと、老眼鏡の上から射すような眼差しを外に向けた。

「芳崖先生でございましょうか」

岡倉はそれに近寄つて腰を屈めた。

しかし男は応えず、無言で外の二人を見詰めていた。

衰れた顔で、肩の骨が突き出ている。六十を過ぎたと見える厳しい面差しは、武辺者に見るような近寄りにくいものだった。

「何の用かは知らぬが、毛唐人などに用はない。さつさと行ってくれ」

低い声でにべもなく言つた。

「お待ち下さい……そんなふうに仰言らず、話をきいて下さい。確かに連れは西洋人に相違ありません。しかし、この方は東京大学のお雇教師でフェノロサ教授と申し、近頃は文部省の図画取調係もなさつて、日本画には随分と精しい人なのです。ぜひ先生にお話申したい

趣きがあつて伺つたのです」

西洋人が帽子をとつて前に出た。

「アーネスト・フェノロサ。ヨロシク」

絵師はそれを白い眼で眺め、唇をきっと結んでいた。

青年があわてて続けた。

「フェノロサ教授は過日、官の出張が戻られた足で、上野の絵画共進会へ参観にゆかれました。そこで先生のお作（桜下勇駒）という絵に接して大層感銘され、一度先生に逢つて年来の希望を話し、ご協力を頂きたいと、こうして今朝早く本郷からわざわざ見えられたのです」

岡倉は喋り終ると額の汗をふいた。絵師は肩の先で嗤い、筆を執り上げた。

「どこから来ようと、それはそつちの勝手だ。話などして見たとて所詮は無益、わしにそんな暇はない」

言い捨てるに再び画布へ屈みこんだ。後ろに坐つた妻女が、氣を揉んでいる表情で夫の背をそつとついた。

岡倉は懷中へ手を入れ、巻紙を取出すとフェノロサ教授に示した。西洋人が肯いた。

「先生これをご被見下さい。狩野友信どのから頂いてきた紹介状ですが……」

岡倉は恐る恐るそれを絵師に差出した。絵師は訝しげに眉をよせ、老眼鏡をかけ直した。

「浜町からの紹介だと……？」

つぶやきながら表裏を改め、封を切つて文面を眼で追つた。

外は暑くなつていて、近くで小鳥の声がする。客二人は日向に立つて汗をふいた。

やがて、絵師は手紙を巻戻しながら妻に言つた。

「仕方があるまいのう。ヨシ、汚い所だが上って貰つてくれ」

妻女は夫の肩に手をかけて立上り、外の二人を笑顔で招いた。

画室の十二畳間は明るかった。絵具簞笥が二つ、仮張りが二丁置かれ、その辺りはきれいに片付いていたが、絵師の坐っていた周囲はひどく散らかっていた。胡粉の袋や膠の束、顔料の振り鉢・壺・皿で足の踏み場がない。絵師と妻がそこへ客の坐る場所を作ろうと片付け始めた。

客二人は座敷の入口に立って、見るともなく家中を見まわした。静かで、夫婦のほか無人のようであった。これと言った家具もない、洗うような貧しさに見えたが、隅々まで清潔に掃き清められていた。

「さ、片付いたぞ。そっちの座布団へ坐ってくれ」家の主は先に坐りこんで、手をのばすと縁側の障子を少しあけた。

強い膠の臭いがする座敷へ、二人の客は足を踏み入れた。フェノロサは窮屈そうに足を折り、盛上った膝の上で山高帽を抱えている。妻女はそれへ笑顔を見せ、台所へ立つていった。

「わしが芳崖だ」

絵師は無愛想に言つた。

青年は畳に手をつかえ、

「申し遅れました。私は岡倉見三と申す。若輩で、四年

前、フェノロサ教授のご薰陶を得てどうやら東京大学を卒業させて頂き、唯今は文部省のご用係に奉職致しております。本日は先生と教授のお話に、通辯のお役に立たいと存じまして参上致しました」

「そうか、ご苦労なことだ」

芳崖はそれぎり口をつぐんだ。取りつく島のない客二人は、眼のやり場のないまま、座敷の壁にかけられた何枚かの画布に眼をやつた。

芳崖が咳払いをした。

「あれはどうだ？ いづれも下絵で、弟子達に写させるために取つておいたのだが」

武者絵にあごをしゃくつて言う。

フェノロサが小声で岡倉に囁くと、岡倉が即座にそれを日本語に直した。

「絵巻物の下絵と見受けられるが、と申しております。」

「うむ。これは六枚絵巻の犬追物の図で、先年陛下がご来臨下さった記念にということで、島津公爵から依頼された仕事だ。ここに残っているのは謂わば習作だ。

二年かかつて大方は仕上げて納めたが、まだ流鏑馬の図が出来ていない。いまやっているところなのだが……見てくれ」

芳崖は描きかけた画布へ立つてゆき、濡れている画幅を二人の前へひろげた。

岡倉は綾蘭笠あやらんがさに行膝装束ゆきあわせの若武者が鞍上で重藤の弓を引絞り、まさに鏑矢を射放さんとしている。

芳崖がそれに説明を加える。

「構図もさることながら、これは似せ絵で、天覧の競技に出た者の面おもてをそのまま写せという註文なのだ」

フェノロサは首を傾げ熱心に見いっていたが、静かに口をひらいた。岡倉が代弁する。

「あたかも古人の絵に接する思いがする。……狩野派の絵とはいえ大和絵にも近い。特に馬の動きがすばらしい。かようく言つております」

芳崖は絵を見ながらあごを撫でた。

「この人は馬の絵が好みと見える。共進会へ出した馬も褒めてくれたというが、一体あの絵のどこが気に入ったのだ。賞にも入らず、新聞でも不評判だったが」

岡倉がそれを通じると、フェノロサは唇をなめ、大きな眼で芳崖を見詰めて話す。

芳崖は奇妙な物を見るように眺めていたが、岡倉に訊ねた。

「何と言つておられるのだ」

「はい。……自分は世評などに興味はない。先生の絵が

正當に評価されないのは、畢竟、其進会の審査員や新聞記者など、観者の側に見識がないからだ。そう言つておられます」

芳崖は声なく笑つた。

「この異人との、少しは絵が判るようだ。……東京日々新聞の評を読んだかどうか聞いて見てくれ。こう書いておつた。(馬丁の目は面白いが、馬が肥えすぎ、馬鈴薯に足が生えた如くだ)……山水の方はもつとひどかった。(雪中の山水は松ヒヨロリとして、千住葱を押立てたる趣きなり)……絵というものは、人によって面白い見方があるものだと、こないだも友人の雅邦と笑つたのだ」岡倉は苦笑し、上氣した顔でそれを流暢な英語に直してゆく。フェノロサも頬を紅潮させていた。碧い眼を動かし、低い声で喋つてゆく。

「教授は展覧場で、金賞、銀賞、銅賞の作品をはじめ、文人画を除いたすべての画幅に目を通されました。それと言つて見るべき作品に出逢わなかつたそうです。四年の暮渓」という絵は、無音で静謐な氣韻が心をひき締めし得ず、やがては衰減してしまうのだろうかと絶望しかけた時、ふと隅に置かれた表装されない二幀の絵に目がとまり、思わず声を出してしまつたと言います。「雪山の暮渓」という絵は、無音で静謐な氣韻が心をひき締めるように感じられ、「桜下勇駒」と題された方は殊に素晴しかつた。意匠がきわめて新しい上に、筆力はまさに勇健、画中の馬がいまにも紙本の外へ飛び出さんばかり。……教授は日本画壇の中で、初めて達人に出遭った喜びに躍り上がられたそうです」

芳崖は腕を組んで聞いていたが、急に咳こんだ。浅い、力のない咳がしつこく続いた。

岡倉は心配そうに見ていたが、咳が止まるとまた口をひらいた。

「……丁度そこへ、其進会の役員が通りかかつたので教授は呼びとめられ、その二幀が誰の作かを訊ねられました。するとその役員は……ええと、どうもこれを先生の



前で申上げるのは大変無礼なのですが……」

岡倉は片手で髪をなで、困ったような笑いを見せた。

「何だか知らぬが、言いかけてやめられては、こちらの

気分がよくな。なんなり言つて見てくれ」

芳崖も苦笑して言つた。

「はい。……ええと、その役員は絵を見て、（狩野芳崖）か。これは長門の田舎から出てきた氣狂い観爺ですよ。

なに、大した絵じやありません）そう言つたそうです。

教授はその役員に（君達は絵について何一つ知つていな

い）と答えられ、直ぐさま共進会の事務局へいつて、あ

の二幀は少くとも二等賞にはすべき絵だと、主張された

のです。……教授は前回の共進会に審査員をなさつてお

り、役員の間でも意見が尊重されています」

芳崖は腕組みをといて苦笑つた。

「なるほど。実はな、後になつてあの絵に裏をよこし

た。どうも解せぬことだと思つてゐたが、それで納得が

いた」

芳崖は身を翻して厨へ走つた。芳崖は懐中から白い手

布を出して口を覆つた。手巾の外へ赤い色が滲み出た。

台所から妻女のヨシが湯呑茶碗を運んでくると、ひどい大蒜の臭いが座敷の中に立ちこめた。二人の客は覚えず眉をひそめた。

妻女の身を翻して厨へ走つた。芳崖は懐中から白い手

布を出して口を覆つた。手巾の外へ赤い色が滲み出た。

芳崖はそれを呑みこみ、しばらく眼をつむつていた

が、咳が止まると笑つて、大儀そうな声で言つた。

芳崖も苦笑して言つた。

「大抵の者がこの臭いを嫌う。なれてしまえば何のこと

はないのだが……大蒜は何の病いにも効く薬だ。わしは

そこの煙で沢山作つてある」

肩で息をつき、残りの菓に口をつけた。

「わしに何の相談があるのか知らぬが、その前に聞いておきたいことがある。……その異人どのは、中橋のご宗

家から名を許されていると、この書状にあつたが：」

フェノロサは芳崖の言つた言葉の意味が判るらしく、

ゆっくり頷いて見せ、日本語で答えた。

「カノー・エイタン。ナマエイタダキミシタ」

「ほう。それは大したものだ。で、えいたんどのは絵を描かれるのかな？」

わきで聞いていた妻女も、好奇の目でフェノロサを見守つてゐる。

今度は判らぬらしく、首を傾けて岡倉を見返せるフェノロサに代つて、岡倉が、

「いえ、狩野永探という名は、日本画鑑定のためのもの

です。……教授は故国アメリカで大学を卒業された後、ボストンの美術学校で油絵の技法を習得されました。し

かし日本へ赴任せられて狩野派の絵に出遭い、すこぶる感動なさつたのです。以来今年でまる六年間、教授は中橋ご宗家と浜町の狩野友信さんの指導の下に、古画の真筆・原本のことごとく研究なされ、絵の長短雅俗を見きわめられるようになり、近頃ようやく鑑定を許されるよ

うになつたのです。更に教授は今日まで伝つてゐる和漢の鑑定書を私共の翻訳で殆んど読破なされました。その上、巷に投げ出されている古画の名品が痛ましいと、可

成りの画幅を買い集められ、その保存研究にも力を注いでおられます。

芳崖は無言で頷き、菓の湯呑茶碗の中をのぞきこんでいたが、

「して、わしへの用向きと言うのは？」

客二人は緊張した面持ちで小声を交した。やがて岡倉が頷き、顎を上げた。

（つづく）